



鶴嶺中学校だより



学校だより NO5
令和6年6月28日
校長 阿部 知宏

6/19 (水) ~20 (木) 2年生の野外教室でした。

大雨警報が発令された前日とうってかわって、晴天に恵まれた2日間でした。生徒の体調やケガ等の関係で予定した活動が一部できなかったなどの事案はあったものの、全体としては、「WE・ARE~喜協明楽 2日間SP~」のもと、ほぼ予定どおりの活動を終えることができました。

具体的には1日目にスポーツ大会やキャンプファイヤーを、2日目には「まかいの牧場」での班別自主行動を行いました。自主的な動きも良く見られ思い出深い行事となったようです。

本校のHPに春の大会の様子を掲載しました。

6月26日(水)にお知らせした(COCCOでは6/21(金)に発信)通り、鶴嶺中学校のHP上の「保護者専用ページ」に春の大会写真を掲載しました。「保護者専用ページ」に入るパスワード等は、同通知やCOCCOメールに記載してあります。(パスワードが確認できない場合は、学校までお問い合わせください。)家庭環境カードにある「個人情報」に係る項目に、今年度からHP掲載についての確認欄を設け、掲載不可の生徒が候補の写真に写っていないかなど、慎重に確認しました。

なお、今後の大会等の写真について、文化部を含めてすべての部活動のものを掲載できるとは限らないこと、これらの写真を勝手にSNS等で広めるなどの行為は絶対に行わないことへのご理解をお願いいたします。

6/28 (金) テスト成績連絡票を配付しました。

本日、28日に中間テストの結果を一覧表にした「テスト成績連絡票」を配付しました。前にもお伝えしましたが、前期と後期の終わりに年間2回お渡しする「通知表」の成績(評価と評定)は、今回のような定期テストの結果だけで決まるものではありません。とはいえ、今回の中間テストの結果は今現在の各自の各教科における理解度の一部を示しているものですから、この結果を今後の学習の仕方等に活かしていただきたいと考えます。困ったことや心配なことがありましたら、いつでも話しやすい先生と相談してください。

地球市民という意識を…国家や民族の枠を超えて人として協力し合いたい

…私たちの生活が世界の人たちとつながっていることを意識したい

2022年の2月に始まったウクライナ戦争、2023年10月から始まったイスラエルとハマスの戦い。他にも世界各地で多くの紛争地帯があり、武力によって多くの人たちが犠牲になったり、難民としてとても苦しい生活を余儀なくされたりしています。また、人種や民族等の違いによる差別により苦しんでいる人も大勢います。勿論、日本国内でも人権に絡む多くの課題が存在していて、命に関わる問題は決して他人ごとではありません。

一方、世界の人たちと私たち日本人の生活は、食料・工業製品をはじめ、多様な文化・芸術などで深く結びついています。例えば、多くの人が好きでチョコレートは、アフリカのガーナなどで子どもの労働により生産されているという現実があります。その昔、東南アジアの熱帯雨林や養殖エビがたくさん日本に輸入され、生産現場の環境に大きな(悪)影響を与えたこともありました。

生徒の皆さんにはそんな世界とのつながりや同じ地球に暮らす人々にも目を向けてほしいのです。そんな思いを込めて、6月13日にはルダシグワ真美さんに講演を、そして、7月2日には紛争地域や被災地などでも医師として活躍されている桑山紀彦さんによる地球のステージの開催をお願いしました。

ルダシングワ真美さんの講演会后、35,001 円の寄付金が集まりました。

先日の 13 日（木）に開催したルダシングワ真美さんの講演会を聴いた保護者の方々と生徒の皆さんから、3 万円を超える募金が集まりました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

地球のステージコンサートの開催近づく。

来月の 7 月 2 日（火）に、茅ヶ崎市民文化会館にて「地球のステージ」というコンサートを開催します。このコンサートは NPO 法人地球のステージが行っている公演事業です。

この NPO 法人は、2002 年に設立され、現在 5 カ国で活動を展開している団体で、支援事業と公演事業の 2 つの事業を行っています。支援事業では、現地のニーズや声に応え、医療・心のケア・教育・災害復興の観点からの支援を、また、公演事業では、支援の現場で出会う様々な困難の中で、底抜けの明るさや生きる勇気を持つ人間の底力を伝えてくれます。

なお、当日は 9:50~10:20 の間に通常級の生徒の皆さんは中央公園に、I 組の生徒の皆さんは文化会館のプラザの集合となります。コンサート終了（12:30 頃を予定）後は、学校での部活動の実施も可能です。

明日 29 日（土）から、夏の地区総合体育大会が始まります。

明日 6 月 29 日（土）より、地区の総合体育大会が始まります。多くの 3 年生にとっては最後であり、陸上部を除き全国大会までつながるものです。先日の 26 日（水）には、全校生徒による激励会も行われました。月並みな言葉ではありますが、一人ひとり悔いの残らない戦いをして欲しいと強く願っています。

情報モラル実態調査結果 教育ネット（有効回答率約 99.6% 令和 5 年度 12 月実施）

本校の生徒の皆さんの傾向です。注）数値は 左から 1 年生の%/2 年生の%/3 年生の%の順番です

1. スマホの自分専用機器所有率 85/87/89%

2. スマホ等の使用時のルール (1) 時間 54/46/37% (2) お金 41/33/23% (3) 場所 21/15/13% (4) ルール無 29/33/42%
3. ルールの決め方 (1) 保護者 56/46/41% (2) 話し合い 26/24/16% (3) 生徒 3/6/10%
4. 過去 1 年以内に使用した SNS 等 (1) YouTube 95/95/96% (2) Line 94/95/93% (3) Instagram 30/58/71% (4) Twitter 30/51/55% (5) Tiktok 43/58/61% 他・SNOW・Snapchat・マイクラフト・Fortnite など

5. 困ったことなどよく相談する人

- 1 保護者など 52/50/51% 2 友達 51/34/44% 3 兄弟姉妹 18/11/11% 4 相談しない 15/11/14% 5 先生 13/9/7%

6. スマホなどを使って

- (1) メールや LINE などで上手く伝えられない 42/61/61%
- (2) メールや LINE などで嫌な思いをした 18/26/26%
- (3) メールや LINE などで自分がどう表現されているか気になる 29/35/36%
- (4) 本名やアドレス、ID など個人情報をネット上にアップした経験 2/10/9%
- (5) 写真（画像）や動画をネット上にアップした 20/28/50%
- (6) ネットで知り合った人がいる 27/35/40%
- (7) ネットで知り合った人と実際に会ったことがある 2/6/6%
- (8) ボイスチャットをしたことがある 34/46/45%

7. ネットの過剰使用に関する厚生労働省のスクリーニングテスト結果

★5/18 項目以上の該当者：「ネットが生活に重大な問題を引き起こす可能性がある」の% 20%/26%/30%

「18 項目の一部」

- (1) ネット時間を減らそうとすると落ち着かなくなったり不機嫌になったりする 14/23/19%
- (2) ネットのせいで大切な人間関係や学校（部活や勉強）のことを危うくするようなことがある 13/19/27%

「お願い」…相変わらず SNS による指導が必要な事案が起こっています。教員の写真や動画（教員が自ら UP しているものではありません。）を検索し、利用している人もいます。学校で把握する事案は氷山の一角です。この機会に、ご家庭でもスマホの使い方について、話題にしてみてください。